

SAILING INSTRUCTIONS

[DP]の表記は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により失格よりも軽減することができることを意味する。

[SP]の表記は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これは、RRS 63.1 及び 付則 A5 を変更している。

レース委員会はその規則違反について抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。

[NP]の表記は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。

これは RRS 60.1(a) を変更している。

1. 規則

- 1.1. 本大会には「セーリング競技規則 2021-2024」（以下、「RRS」）に定義された規則、日本セーリング連盟規程、レーザー・クラス・ルール、レース公示（以下、「NOR」）、この SAILING INSTRUCTIONS（以下、「SI」）を適用する。
- 1.2. 付則Pを適用する。

2. SI の変更

SI の変更は、それが発効する当日の当該クラス予告信号予定時刻の60分前までに掲示される。

ただし、レース日程の変更はそれが発効する前日の19時までに掲示される。

3. 競技者への通告

競技者への通告は、LINE（※1）からの通知により行う。

なお、リアスハーバー宮古管理棟玄関脇にも補助的な位置づけとして競技者への通告を掲示するが、屋外掲示物と順序や内容、掲示時刻が異なった場合にはLINEからの通知が正式なものとなる。

（※1）LINE（オープンチャット「2022みやこマスターズブリテン」

https://line.me/ti/g2/3Jm8EAD02iAXzb4EneX1Tr3nx902hvpZZLAJug?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default)

参加コード「miyako」



- 3.1. [DP]緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

4. 行動規範

- 4.1. [DP] 競技者及び支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。
- 4.2. 競技者及び支援者は、本大会に適用される「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」を遵守しなければならない。

5. 陸上で発する信号

- 5.1. 陸上で発する信号は、リアスハーバー宮古管理棟2階に設置された信号柱に掲揚する。
- 5.2. [DP] [NP] 音響信号 1 声と共に掲揚されるD旗は、「予告信号は、D旗掲揚後 30分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない。ただし、D旗がクラス旗の上に掲揚された場合、そのクラスのみ適用する。
- 5.3. SI 6.1 に示された個別のレースに対して、「AP旗」は掲揚しない。予告信号予定時刻の 30分前までに「D旗」が掲揚されない場合、そのレースのスタートは、時間の定めなく延期されている。
- 5.4. 掲揚された「D旗」は、20分後に降下される。これはSI 18.3 に示す当該クラスの出艇申告が終了したことを意味する。

6. 日程

6.1. レース日程

	Date	Event	Time
Day0	9月16日(金)	大会受付(会員登録確認)・計測	13:00-17:00
Day1	9月17日(土)	大会受付(会員登録確認)・計測 開会式・ブリーフィング その日最初のレース予告信号、引き続きレース	08:00-09:30 09:45 11:25
Day2	9月18日(日)	ブリーフィング その日最初のレース予告信号 引き続きレース 閉会式・表彰式	08:15 09:45 15:30

- 6.1.1. 次のクラスの予告信号は最初のクラスのスタートの2分後とする。
- 6.1.2. 基本的にレーザースタンダードクラス→レーザーラジアルクラス→レーザー4.7クラスの順でスタートするが、天候その他の事情によりスタート順を入れ替える場合がある。
- 6.1.3. 日程は天候その他の事情により、レース委員会の裁量で変更することがある。
- 6.1.4. 各日とも海上で昼食をとることがある。
- 6.1.5. 9月18日の予告信号を発することのできる最終時刻は、13時30分とする。

6.2 レース数

クラス別に6レースの実施を予定する。

7. クラス旗

クラス旗は、次の旗を用いる。

種目	クラス旗
レーザースタンダードクラス	白色生地のレーザークラス旗
レーザーラジアルクラス	緑色生地のレーザークラス旗
レーザー4.7クラス	黄色生地のレーザークラス旗

8. レース・エリア

- 8.1. レース・エリアの位置は、添付図 1 に示す通りである。
- 8.2. 添付図 1 どれりのレース海面にならなくても艇からの救済要求の根拠とはならない。これは、RSS 62.1(a)を変更している。

9. コース

- 9.1. 添付図 2 のコース図は、各レグ間の角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。
- 9.2. 各クラスの予告信号以前に、レース委員会の信号艇に帆走するコース及び最初のレグのおおよそのコンパス方位を表示する。
- 9.3. 添付図 2 のコース図において、3 レグ以上帆走したマークでフィニッシュすることでコース短縮することがある。ただし、マーク 1 とマーク 1 a (オフセットマーク) 間は 1 レグとしてカウントしない。

10. マーク

マークは次の通りとする。

Marks 1, 2, 3s, 3p, 4s, 4p	Offset Mark (1a)	New Mark	Starting Line Mark	Finishing Line Mark
黄色の円柱ブイ(大)	オレンジ色の 三角錐ブイ(中)	ピンク色の 円柱ブイ (大)	レース委員会艇	レース委員会艇

11. スタート

- 11.1. スタート・ラインは、スターボードの端となるレース委員会艇の『オレンジ色旗』を掲げたポールと、ポートの端となるレース委員会艇の『オレンジ色旗』を掲げたポールの間とする。
- 11.2. [DP] [NP]他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・ラインから概ね 100m 以内の範囲およびコースサイドから離れていなければならない。
- 11.3. スタート信号後 4 分以内にスタートしない艇は、審問なしに「スタートしなかった (DNS)」と記録される。これは RSS A4 と A5 を変更している。
- 11.4. RSS 30.4 (黒色旗規則) に以下を変更、および追加して適用する。
 - (a) セール番号は少なくとも 3 分間掲示する。セール番号を最初に掲示する時に長音が発せられる。セール番号が掲示された艇は、新しい準備信号までに SI 11.4(b) に定義されるレース・エリアを離れなければならない。それに従わない場合、その艇は審問なしに DNE と記録される。
 - (b) スタート信号前のレース・エリアは、スタート・ラインから 100m の範囲とする。スタート信号後のレース・エリアは、いずれかのフリートがレースを行っている間は、艇が通常帆走すると考えられる地点の外側 100m の範囲とする。
 - (c) レース委員会は艇に RSS 62.1(a) に基づいて救済が与えられると判断した場合、RSS 30.4 違反艇のセール番号を掲示せず失格にしないことがある。これは RSS 30.4、60.2 および 63.1 を変更している。

12. コースの次のレグの変更

レース委員会は、(a) 新しい変更用マークを設置するか、(b) フィニッシュ・ラインを移動するか、もしくは (c) 風下マーク (4s/4p) を移動することによってコースの次のレグの変更を行う。

新しい変更用マークを設置した場合、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

13. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインはレース委員会艇の青色旗を掲揚しているポール間である。

14. ペナルティー方式

14.1. 付則 P を適用する。ただし以下の変更を伴う。

- 14.1.1. 艇がフィニッシュ・ラインを横切った後に1回目のペナルティが課される場合、その艇に **DNS** の **10%**(小数点 0.5 切り上げ)の得点ペナルティを付与する。
ただし、そのレースの得点が **DSQ**(失格)よりも悪くなることはない。
これは、**RRS 44.2** を変更している。

15. タイム・リミットとターゲット・タイム

15.1. タイム・リミットとターゲット・タイムは以下のとおりとする。

種目	マーク 1 の タイム・リミット	タイム・ リミット	フィニッシュ・ ウィンドウ	ターゲット・ タイム
レーザースタンダードクラス	20 分	60 分	15 分	40 分
レーザラジアルクラス	20 分	65 分	15 分	45 分
レーザ4.7 クラス	20 分	70 分	15 分	50 分

- 15.2. マーク 1 のタイム・リミット内に1艇もマーク 1 を通過しなかった場合、レースは中止される。
- 15.3. フィニッシュ・ウィンドウは、スタートしコース帆走した最初の艇がフィニッシュした後、艇がフィニッシュするまでの時間である。
フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュできず、かつ、その後リタイアせず、ペナルティを課せられず、または救済を与えられなかった艇は審問なしに「フィニッシュしなかった (**DNF**) 」と記録される。これは **RRS 35** 及び **RRS 付則 A4** と **A5** を変更している。
- 15.4. ターゲット・タイムどおりにならなくても、救済の根拠とはならない。この項目は、**RRS 62.1(a)** を変更している。

16. 抗議と救済の要求

- 16.1. 抗議書は、リアスハーバー宮古管理棟 2 階のプロテスト委員会事務局で入手できる。抗議及び救済または再審の要求は適切な制限時間内に各プロテスト委員会事務局に提出しなければならない。
- 16.2. それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻は、その日の当該クラスの最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後のどちらか遅い方から 60 分とする。
- 16.3. 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に通告するために、抗議締切り時刻後 30 分以内に通告書を掲示する。審問はリアスハーバー宮古管理棟 2 階のプロテスト・ルームで行われ、抗議締切り時刻前に行われることもある。
- 16.4. レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による抗議を **RRS 61.1(b)** に基づき伝えるために公示する。
- 16.5. 標準ペナルティを課せられた艇のリストおよび **RRS 42** 違反に対するペナルティを課せられた艇のリストを掲示する。
- 16.6. **RRS 66** に基づく審問の再開は、判決を通告された日の翌日の 9 時までの間に限り求めることができる。ただし、レースを行う最終日については判決を通告されてから 15 分以内とする。これは **RRS 66** を変更している。

17. 得点

- 17.1. シリーズが成立するためには、各クラスとも 1 レースを完了することを必要とする。
- 17.2. (a) 完了したレースが 4 レース未満の場合、艇のシリーズの得点は、全レースの得点合計とする。
- 17.3. (b) 完了したレースが 4 レース以上の場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

18. [DP] [NP] 安全規定

18.1. [SP] 申告

- 18.1.1. 出艇する艇は、各自のスマートフォン等、またはリアスハーバー宮古管理棟に準備された出艇申告書を使用し、LINE (※1) により指示された出艇申告フォームまたは、出艇申告書より出艇申告を行う。
申告方法は別途、[大会公式ホームページ](#)にて連絡する。代理による出艇申告も認める。
出艇しない艇は出艇申告フォームより「DNC」申告を行うこと。
出艇申告は、17日9時45分、18日8時15分から、当該クラスのD旗掲揚後20分の間に行うこと。
- 18.1.2. 帰着申告もLINE (※1) により指示された帰着申告フォームまたは、帰着申告書より、帰着後速やかに行うこと。帰着申告の締め切り時間は、レース終了後60分以内とする。
ただし、レース委員長の裁量によりこの時間を延長することがある。
- 18.1.3. レースの中止または延期により帰着した場合も帰着申告を行わなければならない。
中止または延期されたレースが再開される場合、SI 18.1.1 に従い再度出艇申告を行わなければならない。
- 18.2. 海上でリタイアした艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前にレース委員会艇にその旨を伝えること。また、帰着後、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。
- 18.3. [SP] SI 18.2 のリタイアした艇は抗議締め切り時間内に『リタイア申告書』にリタイアしたレース番号を記入し提出しなければならない。
- 18.4. [DP] 各艇の乗員は、離岸から着岸まで、衣服または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、競技者は個人用浮揚用具を着用していなければならない。これはRRS 40 を変更している。
ウエット・スーツとドライ・スーツは個人用浮揚用具ではない。
- 18.5. 救助を求める必要がある場合には、“手のひらを広げて”振り、その意志を表わすこと。
救助の必要がない場合には“こぶしを握って”振ること。
- 18.6. 必要とみなされた場合、競技者は自邸を放棄してレスキューボートに乗艇するよう運営艇に命じられることがある。強制救助に対しては、艇からの救済要求の根拠とはならない。これはRRS 62.1(a) を変更している。
- 18.7. [DP] マスト・トップに着脱可能な浮力体を取り付けてもよい。形状は球形に限り、1か所のロープで取り付けなければならない。ただし、コンディションにより、付いたり外したりしてもよい。
- 18.8. 艇体放棄をする際には、競技者の安全が確保されていることを示すために、ハザード・テープの目印または黄色ロープをバウ・アイに結んでおく。

19. [DP] [NP] 装備の交換

- 19.1. 選手は大会において1つのハル、セール、バテンセット、マスト、ブーム、センターボード、ラダーを使用しなくてはならない。
- 19.2. 艇または装備が損傷した場合、レース委員長の書面での許可を受けた場合にのみ交換することができる。その日の最初のレースのスタート前90分以降からその日の最後のレースのスタート前までに破損が発生した場合、レース委員会に口頭で臨時許可を得た後、その日の抗議締め切り時刻以前に書面で許可申し込みを行わなければならない。

20. 艇、装備および衣類の検査

- 20.1. 各艇はLINE (※1) により指示された計測フォームを提出しなければならない。
- 20.2. 艇、装備および衣類は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

21. 運営艇の識別

運営艇の標識は次の通りとする。

Boat	Flag Description
レース委員会艇	白地に赤字「RC」表記
プロテスト委員会艇	赤地に白字「PROTEST」表記
救助艇	緑地に白字「RESCUE」表記
報道艇	白地に緑字「MEDIA」表記
連絡艇	黄色字に黒字「連絡艇」表記
観覧艇	黄色字に黒字「観覧艇」表記

22. [DP]支援艇

- 22.1. チーム・リーダー、コーチその他の支援者は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするかもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。ただし、レスキュー等緊急の場合を除く。
- 22.2. 支援艇は水上にある場合、大会受付時に交付される「ピンク旗」を掲揚しなければならない。
- 22.3. レース委員会艇が音響信号1声とともに「**ピンク旗**」を掲揚した場合、すべての支援艇は、可能な場合には捜索と救助をしなければならない。これは **RRS 37** を変更している。
この場合、**SI 22.1** は適用されず、レース・エリアに入り救助活動を行って良い。
- 22.4. 支援艇は、**SI 18.9** において使用するハザード・テープまたは黄色ロープを3つ以上搭載しなければならない。黄色ロープは受付時に配布し、追加で必要な場合はリアスハーバー宮古管理棟2階のレース委員会事務局にて入手できる。
- 22.5. 支援艇の乗員は、離岸から着岸まで、衣服または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、個人用浮揚用具を着用していなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは個人用浮揚用具ではない。
- 22.6. 支援艇のドライバーは、艇外に投げ出されたりその他の理由で支援艇がコントロール不能とならないために、支援艇のエンジンが動作している時は常にキル・コードを装着していなければならない。

23. [NP]ごみの処分

ごみは支援艇または大会運営艇に渡してもよい。

24. 賞

- 24.1. レーザー・スタンダードクラス、レーザー・ラジアルクラス及びレーザー・4.7クラスの参加者のうち、参加艇数の多いリーグのチャンピオンに全日本マスターズ総合チャンピオンとしてラダー型トロフィー（持ち回り）を授与する。
- 24.2. 各カテゴリーのチャンピオンにILCAのキューブを授与（エントリーが5艇以上のカテゴリー）
- 24.3. WomenチャンピオンにはILCAのキューブ授与はないが、別途賞を授与する。
- 24.4. 各カテゴリーの成績上位者に賞を授与（エントリーが5艇以上では1～3位、エントリーが3艇以上5艇未満では1位のみ、エントリーが3艇未満では賞の授与はしない）

25. リスクステートメント

- 25.1. RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングに内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
- 25.2. 競技者は、完全に自己のリスクでレガッタに参加している。主催団体及びこれに関わる全ての団体、役員その他全ての関係者は、競技者がレガッタ前、レガッタ中またはレガッタ後において受けた物的損傷または個人の負傷もしくは死亡にたいして責任を否認する。

26. 保険

競技者は、有効な傷害保険と賠償保険に加入していなければならない。

27. 肖像権

競技者は、本レガッタに参加することにより、レガッタ期間中の競技者または競技者の装備に関する動画、写真等の映像について、その競技者に予告なく主催団体の判断で使用する権利を主催団体に与えるものとする。

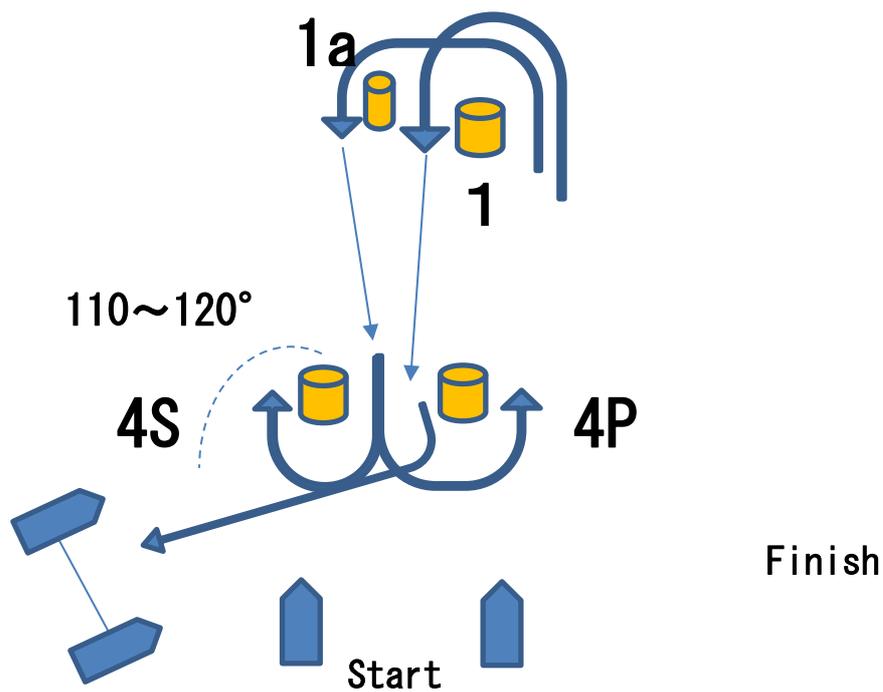
添付図 1 レース・エリア



※湾内の東側（「月山」側＝図上の右側）には延縄式養殖施設が設置されているので留意すること

添付図 2

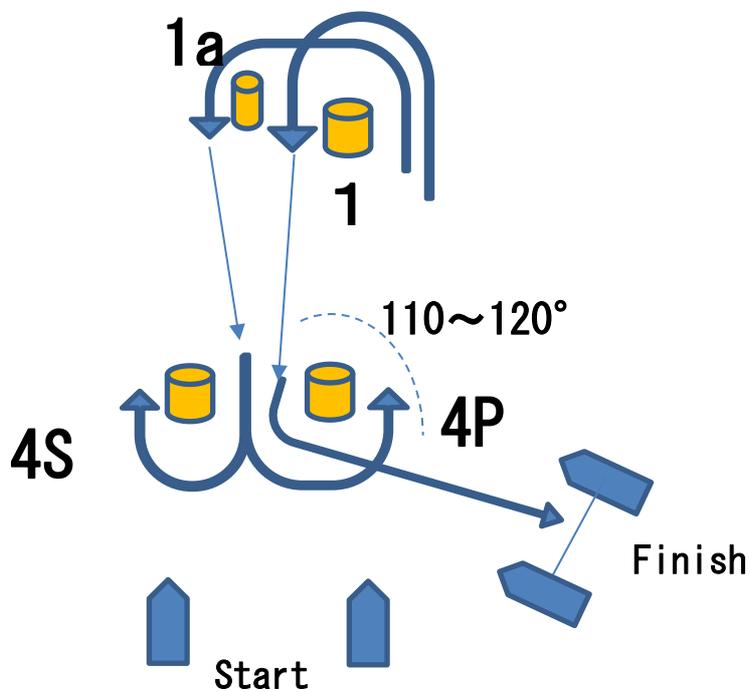
コース “LG”



LG2: Start-1-1a-4S/4P-1-4S-Finish

LG3: Start-1-1a-4S/4P-1-4S/4P-1-4S-Finish

コース “LR”

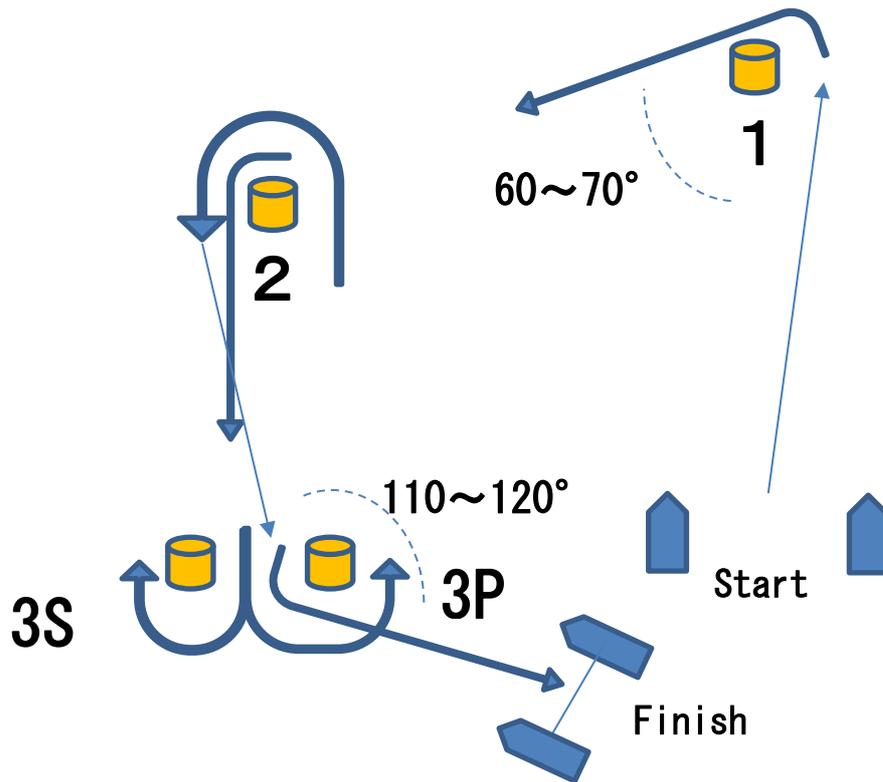


LR2: Start-1-1a-4S/4P-1-4P-Finish

LR3: Start-1-1a-4S/4P-1-4S/4P-1-4P-Finish

コース “O”

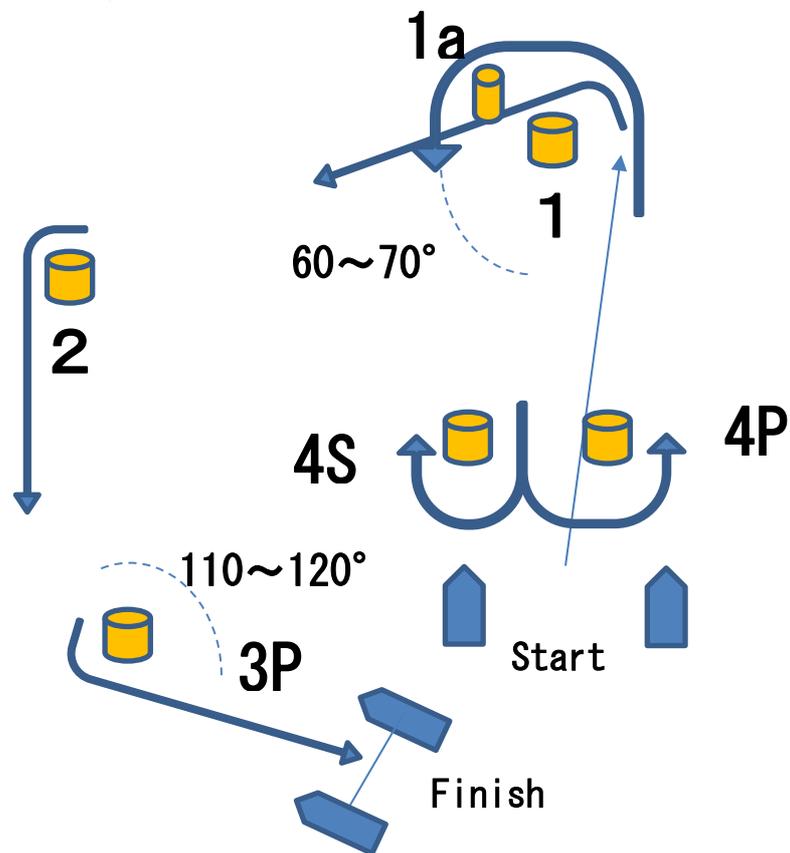
トラペゾイド アウターループ



02: Start-1-2-3S/3P-2-3P-Finish

コース “I”

トラペゾイド インナーループ



I2: Start-1-1a-4S/4P-1-2-3P-Finish